

2010年11月24日付け EBFRIP 声明(訳文)
(=European Brominated Flame Retardant Industry Panel)
(=欧州臭素系難燃剤工業委員会)

EU議会は、科学に基づいた原則に合致する新しい RoHS 指令に投票しました。

新しい EU RoHS 指令を採択するに当たり、本日圧倒的多数の議員が科学に基づいた立法を支持しました。この結果、現在電子電気機器に使われている物質、例えば臭素系難燃剤は、電子電気機器業界にとって安全、有効かつ効率の良い材料の一つとして、引き続き使用できることを意味します。当 EBFRIP は、欧州議会全員の投票結果を歓迎します。採択された改定案は、業界にとっては現行 RoHS 指令に更に明快さ及び予測可能性が与えられた改善と考えています。

EU加盟諸国とEU委員会との交渉に基づき、欧州議会は、EUにおける化学物質の評価とより一致する枠組みを確かにする文言に合意致しました。合意された文言は、将来の見直し及び本指令の改訂の際の方法論を述べており、それはREACHと一貫したものになるでしょう。付属 IV の禁止物質を拡大しないという委員会の提案は、ある時点から全てのEU機関の支持を得ていました。議会は、差別的な物質リスト化に対する懸念から、付属 III (優先評価物質) を削除致しました。

議会の採択に続き、EU 閣僚理事会の正式承認が 12 月 20 日行われる予定です。

質問は以下にコンタクト下さい。

Dr, Phil Hope

pho@cefic.be